

5月11日全校朝会講話 ～話を聞くことは、思いやり～

先週は1年生の遠足がありました。ルールを守りながら、みんなで仲良く遊ぶことができていましたとお話を聞きました。1年生もよく頑張っています。

二十四節気では、立夏を過ぎました。日差しも強くなり、気温も上がってきます。衣服の調整や水分補給などの体調管理に注意したいものです。

さて、今、私は、皆さんの学校生活の様子を知るために校内の先生方、一人ひとりとお話をする機会をもっています。その中で、多くの先生方が、頑張って取り組んでいきたいということに、皆さんの「話の聞き方」があります。そこで、今日は、「話を聞くということ」についてお話します。

話を聞くということには、大きく2つの意味があります。

- ①「聞く姿勢」は、相手への思いやりにつながります。
- ②「聞くこと」は、自分を成長させる力につながります。

「聞く姿勢」については、話している人の方を見る、うなずきながら聞く、最後まで静かに聞く。この三つができると、話している人は「伝わっているな」と安心できます。

「聞くこと」については、先生の話聞く、友だちが意見を聞く、その一つひとつが考える力を育てていきます。

話している人を見る、
みじかくうなずく、
相手の気持ちを想像しながら心で聞く　こんなことが大事です。

実は、お話を聞くということは、「人のことを大事にする」ということと同じだと考えています。皆さんは、どう思いますか。